

---

## ベイ・コミュニケーションズ取材メモ

---

ガイドブック「文化財を訪ねて～いたみ歴史散策～」改訂版の刊行に伴い、ケーブルテレビ（baycom）から取材の申し込みがありました。

2020年8月21日（金）午前中、有岡城跡と旧岡田家住宅において、末次会長がガイドブック刊行の話題とともに、伊丹市の文化財やわが会の活動概要につき説明しました。

下記の質疑応答は取材の詳細を末次会長がまとめたものです。

### ■ベイコムからの質問①

これまでの活動について、何年前からのどんな活動だったのか。また、その中で印象に残る出来事、文化財など。

伊丹市文化財ボランティアの会は1996年（平成8）に設立され、24年の歴史を有する団体。伊丹市教育委員会が毎年1～3月に開催する「文化財ボランティア養成講座」（全8回）修了者により構成されていて、現在の会員数は42名です。

この会は、市内にある文化財の調査・学習を通じて相互の研鑽を図りつつ、研鑽の成果を市民に向けて発信しています。また、文化財を保護しつつ、それを後世に受け継いでいくことも、我々の重要な任務の一つです。

この会は、ボランティア精神にのっとり、「世のため人のため」「伊丹市のため、伊丹市民のために」という意識をもって、会員が相互に協力し合いながら、活動を行っております。

ガイドには参加者の募集方法やガイドの場所によって、大きく3つの活動があります。

1. 依頼ガイド：伊丹市民または市外からの来訪者の依頼を受けて、国指定の史跡である有岡城跡など市内の史跡へご案内して、ガイドをする。
2. 市民ガイド：文化財ボランティアの会で、見学コースを設定して、参加者を募集して、ご案内をする。
3. 旧岡田家ガイド：国の重要文化財である旧岡田家住宅に交代で当番を務め、伊丹の酒造りや建物について説明をする。

ガイド以外の活動としては、歴史ロマン体験学習事業といって、例年月1回開催される社会教育課主催の児童対象体験学習に、指導補佐として会員を派遣している。

広報活動としては、会報やホームページを通じて、会の活動を発信している。

会員の相互研鑽を推進すべく、会員対象の勉強会を随時企画・推進している。

このほかに分科会活動も盛んに行われている。4つの分科会がある。「どんぐり座」「古文書会」「パソコン会」「歴史会」。

どんぐり座は紙芝居・紙人形劇（ペープサート）を行うグループで、依頼を受けて出張公演を行っている。演目は、伊丹の民話、伝承などを題材に、会員が台本、紙芝居の絵画などを制作している。

### ■ベイコムからの質問②

冊子が9年ぶりにアップデートされるとのこと。この理由について。

9年も経ちますと、内容が古くなったりしますので、文化財の説明文につきましては、最近の研究成果も踏まえて、内容の修正・改善・充実を図る一方で、文化財マップや写真につきましては、最近の状況を反映するように努めました。

### ■ベイコムからの質問③

新しくなった冊子の特徴、オススメのポイントなど。

旧版『伊丹を歩こう』の構成は、遠いところにある史跡から伊丹市中央部の史跡・文化財へとという順番になっていました。

そのため、ガイド依頼の回数が多く、使用頻度も高い有岡城跡周辺の説明が一番最後に配置されて、使いづらい面があったのですが、今回の改訂版では、有岡城跡の説明を最初に移すことにより、使いやすくなったと思います。

お勧めのポイントとしては、「はじめに」という序文に、伊丹の歴史を縄文時代から振り返りつつ、その時代に関連のある史跡を併せて説明しておりますので、序文2ページをお読みいただければ、伊丹の歴史と文化財が概観できるように工夫しております。

### ■ベイコムからの質問④

冊子を新しくしたことにより、これからの活動はどう変わるのか、意気込みなど。

ガイドのうち、依頼ガイドは外部からの依頼を待つ受け身のガイドだが、市民ガイドはこの会で見学コースを設定して、参加者を公募して行う、いわゆるアクティブガイド。市民ガイドの開催回数は、今まで年3回程度だったが、この回数を増やしていきたい、と思っております。目標としては年6回。今回改訂したガイドブック『文化財を訪ねて』を、テキストとして使用することにより、シリーズもののガイドにできないか、検討したい。

市民ガイド開催の際に、ベイコムさんに取材していただけると、有り難いと思います。あるいは「伊丹の文化財を訪ねて」というようなタイトルで、別途番組を作っていただけると、有り難いと思います。

### ■ベイコムからの質問⑤

伊丹市の文化財の特徴など。

伊丹市は約25km<sup>2</sup>という狭い市域に、縄文時代から始まる各時代の史跡が市内に散在しております。ガイドブックの序文にも書いているのですが、伊丹空港のそばには、縄文晩期から米作りが行われていたと思わせる土器が出土した口酒井遺跡、空港滑走路のある場所からは弥生時代の銅鐸が出ている。

阪急稲野駅そばには御願塚古墳という古墳があります。白鳳時代はお寺の時代で、伊丹市北部に伊丹廃寺跡という国指定の史跡があるほか、西には昆陽寺があります。

JR伊丹駅のすぐ前に、有岡城跡という城跡があります。城が廃城となった後、江戸時代になると伊丹郷町を中心に酒造りで栄えた歴史があります。

### ■ベイコムからの質問⑥

ここは話したい、伝えたい、これをぜひ知ってほしいことがあればぜひお話ししてください。

伊丹市文化財ボランティアの会では、これから市民ガイドなど、さまざまなイベントを企画し、市民の皆さま方に「広報いたみ」などを通じて、ご案内してまいりますので、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

また、一緒に活動してみたいな、同じ趣味を持つ仲間が欲しいな、と思われる方がおられましたら、ご連絡いただければ幸いです。